



令和4年度決算に基づき、経営戦略（計画期間：平成29～令和8年度）に掲げた事業計画と経営基盤強化の取組について進捗状況を検証した。

1 事業計画の進捗状況

【普及拡大事業】

未普及地区解消に向けた公共下水道の整備

- ・整備地区：東藤島地区、東郷地区、一乗地区、麻生津地区 など
- ・整備延長：約27.4km
- ・人口普及率：98.3%（昨年度から0.8ポイント増）

【改築事業】

ストックマネジメント計画に基づく、管渠・施設の老朽化対策

- 管渠
 - ・管更生：2.9km
 - ・管渠改築工事：0.2km
 - ・新明里橋水管橋耐震補強・補修事業（R3～R4）
- 施設
 - ・日野川浄化センター、水越ポンプ場等の設備更新、長寿命化
 - ・大瀬ポンプ場中央監視設備更新事業（R4～R5）

【耐震化事業】

施設の耐震化の推進

- ・処理場耐震化計画策定業務（日野川浄化センター など）

【大規模改築事業】

浸水被害軽減に向けた施設等の整備

- ・加茂河原ポンプ場更新事業：建築工事、ポンプ設備工事、
（R1～R5） 沈砂池設備工事、電気設備工事 など
- ・足羽ポンプ場更新事業：詳細設計業務



<加茂河原ポンプ場更新工事>

【雨水対策事業】

- ・耐水化事業：耐水化工事（日野川浄化センター など）
- ・浸水対策事業：排水施設整備工事、施設操作の遠隔化 など

2 経営基盤強化の取組

【事業の効率化】

○不明水対策

- ・改築延長：約 1.0km

○消化ガス発電

- 令和4年度発電量：約 230 万 kW
- 二酸化炭素削減量：約 1,080t

○施設の統廃合

- ・集落排水施設（朝谷島・境寺町）を、美山浄化センターへ統合

【収入の確保】

- ・過年度使用料収納率 99.8%
- ・交付金・補助金の要望活動

【下水道事業の見える化】

上下水道のミカタの発行
年3回 全戸配布



上下水道展の開催
約 600 人来場



マンホール・ワン・コンテストの実施



< 令和4年度最優秀作品 >



電気自動車のラッピングによる下水道事業 PR



マンホールカードの配布
4,495 枚配布



< 「落ちない・スベらない・サクラ咲く」
合格まんほ～るカード事業 >

【組織の活性化・人材育成】

研修：8回

（危機管理、雨水対策、事業計画、排水ポンプ車操作、施設見学等）

訓練：企業局 BCP 訓練（地震・風水害）



< 企業局 BCP 訓練（地震） >



< 施設研修（処理場の仕組みと水質管理） >

3 経営指標

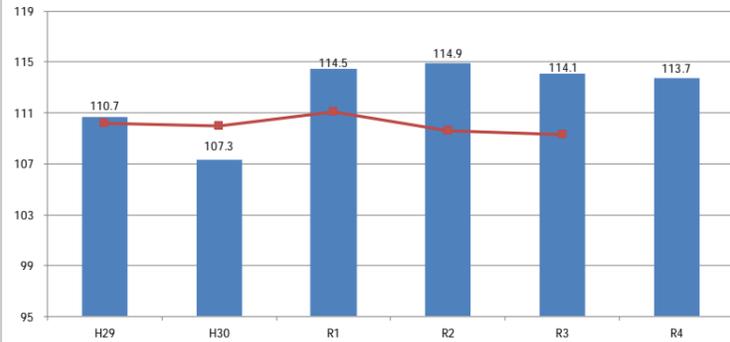
【経営の健全性・効率性】

数値は全て公共下水道のもの

■ 福井市
■ 類似団体平均

経常収支比率 (%)

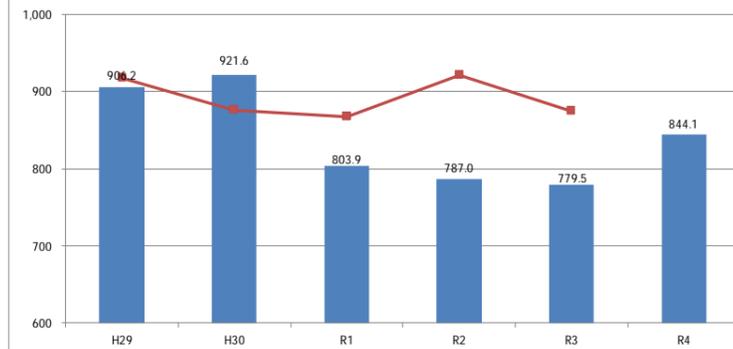
維持管理費などの経常費用を使用料収入や繰入金などの収益でどの程度賄えているかを示す指標。(100%以上が望ましい)



	H29	H30	R1	R2	R3	R4
福井市	110.7	107.3	114.5	114.9	114.1	113.7
類似団体平均	110.2	110	111.1	109.6	109.3	

企業債残高対事業規模比率 (%)

使用料収入に対する企業債残高の割合で、企業債残高の規模を示す指標。



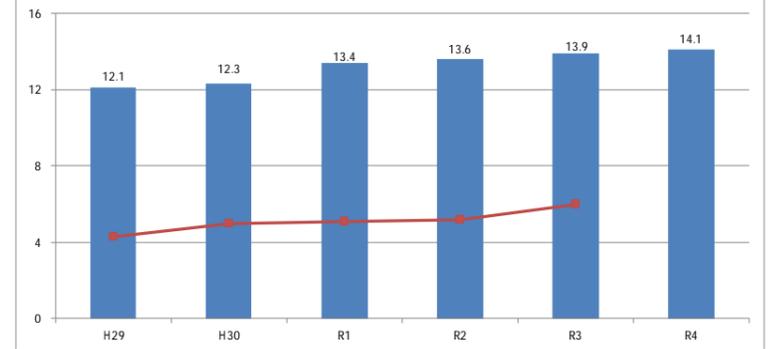
	H29	H30	R1	R2	R3	R4
福井市	906.2	921.6	803.9	787.0	779.5	844.1
類似団体平均	917.3	875.5	867.4	920.8	874.0	

【老朽化の状況】

■ 福井市
■ 類似団体平均

管渠老朽化率 (%)

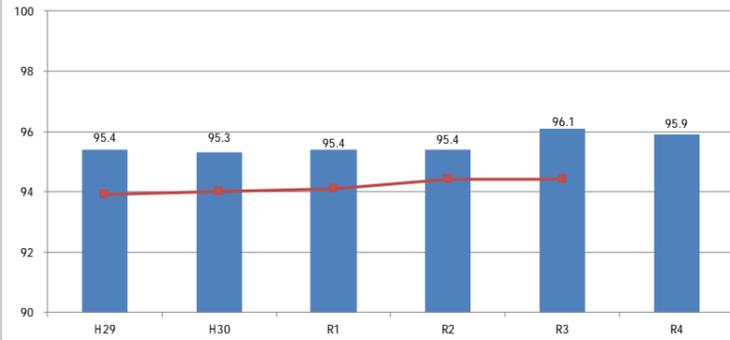
法定耐用年数を超えた管渠延長を示す指標。(管渠の老朽化度を表す)



	H29	H30	R1	R2	R3	R4
福井市	12.1	12.3	13.4	13.6	13.9	14.1
類似団体平均	4.3	5.0	5.1	5.2	6.0	

水洗化率 (%)

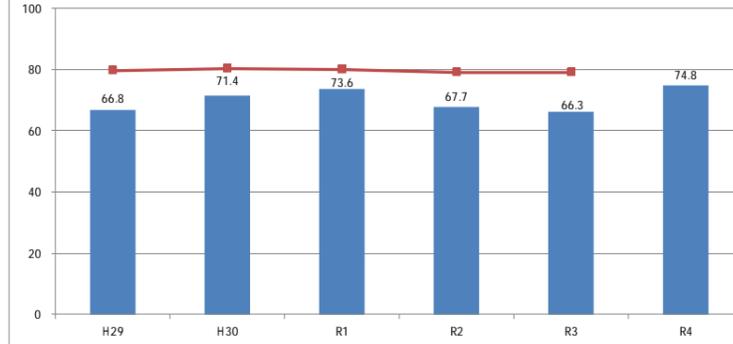
処理区域内人口のうち、実際に水洗便所を設置して汚水を処理している人口の割合を示す指標。



	H29	H30	R1	R2	R3	R4
福井市	95.4	95.3	95.4	95.4	96.1	95.9
類似団体平均	93.9	94	94.1	94.4	94.4	

有収率 (%)

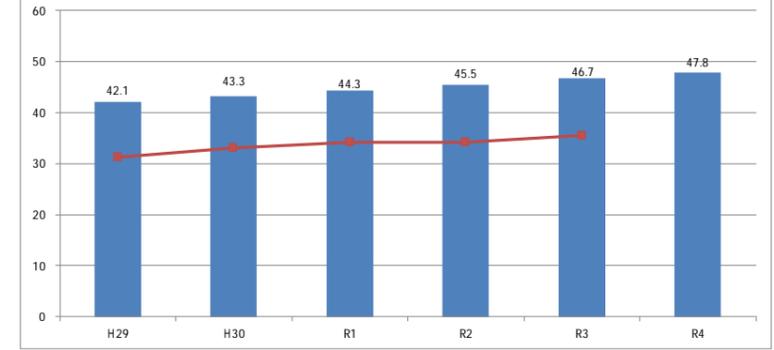
処理した汚水のうち、使用料徴収の対象となる水量の割合を示す指標。高いほど不明水が少なく、効率的。



	H29	H30	R1	R2	R3	R4
福井市	66.8	71.4	73.6	67.7	66.3	74.8
類似団体平均	79.6	80.1	79.8	79.1	79.0	

有形固定資産減価償却率 (%)

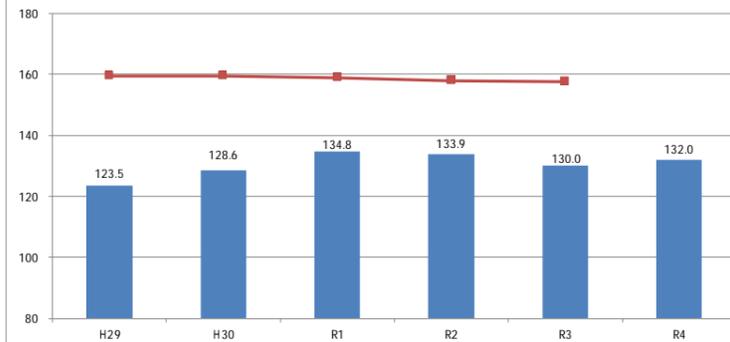
有形固定資産(償却対象資産のみ)の減価償却がどの程度進んでいるかを示す指標。(施設の老朽化度を表す)



	H29	H30	R1	R2	R3	R4
福井市	42.1	43.3	44.3	45.5	46.7	47.8
類似団体平均	31.2	33.1	34.3	34.2	35.5	

汚水処理原価 (円)

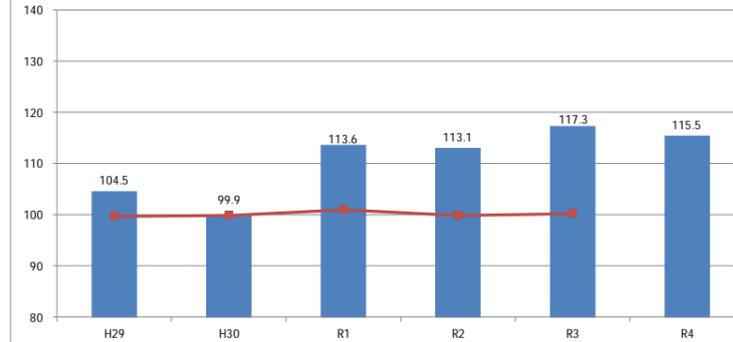
有収水量 1 m³あたりの汚水処理に要した費用であり、汚水資本費・維持管理費の両方を含めたコストを示す指標。



	H29	H30	R1	R2	R3	R4
福井市	123.5	128.6	134.8	133.9	130.0	132.0
類似団体平均	159.5	159.6	158.9	158.0	157.6	

経費回収率 (%)

使用料で回収すべき費用を、どの程度使用料で賄えているかを示す指標。(100%以上が望ましい)



	H29	H30	R1	R2	R3	R4
福井市	104.5	99.9	113.6	113.1	117.3	115.5
類似団体平均	99.7	99.8	100.9	99.8	100.3	

【指標の分析】

- ・「経常収支比率」、「経費回収率」については100%を上回っている。また、「企業債残高対事業規模比率」については、類似団体より低い水準で推移しており、健全な経営状態といえる。
- ・「管渠老朽化率」、「有形固定資産減価償却率」は類似団体平均を上回っており、他自治体と比べ、老朽化が進んでいる状況にある。

4 決算状況

【決算状況】

金額は百万円単位で四捨五入 () 内の数値は対前年度増減率

収益的収支：収益面では、使用料収入の減少などにより、営業収益は66億200万円（-1.4%）となった。

また、営業外収益は27億5,900万円（+2.6%）となり、これらを合わせた総収益は93億6,100万円（+0.2%）となった。

費用面では、施設の維持管理費の増などにより、営業費用は74億7,000万円（+1.2%）となった。

また、営業外費用は企業債利息等の減少により8億1,700万円（-8.9%）となり、これらを合わせた総費用は82億8,700万円（+0.1%）となった。

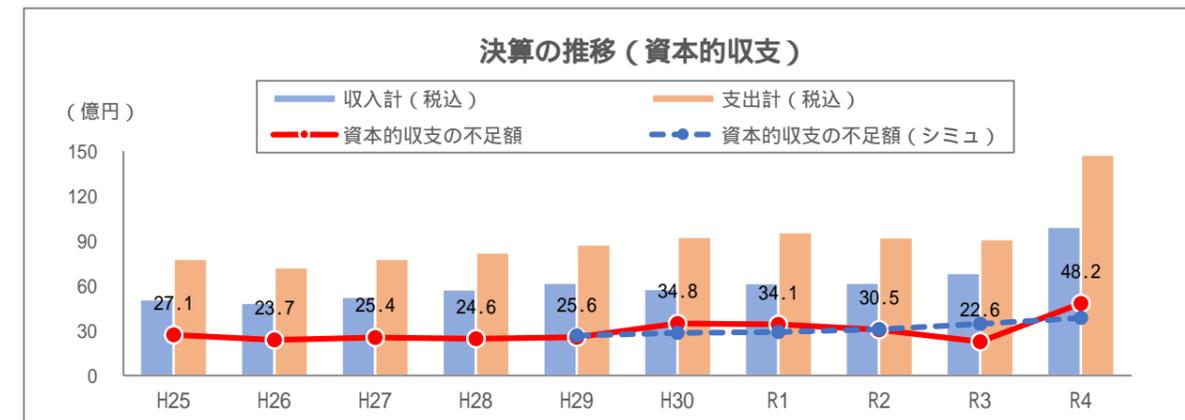
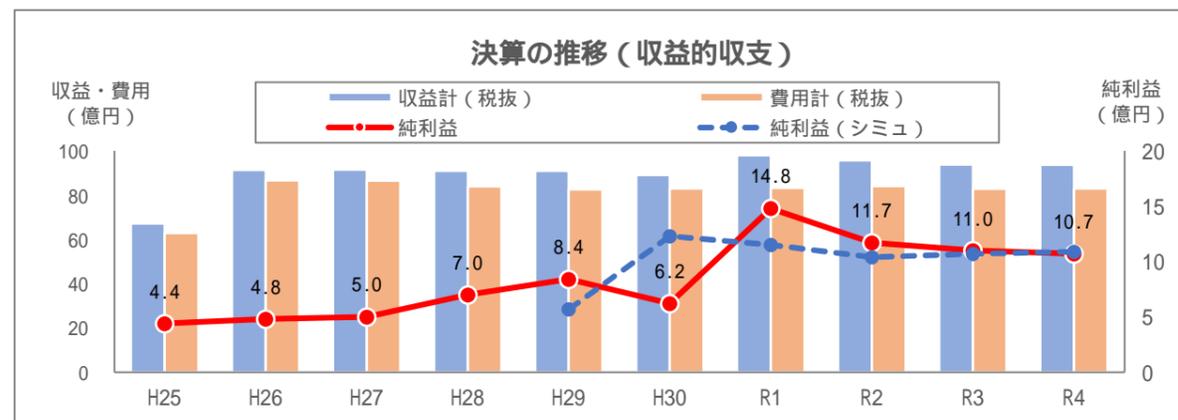
この結果、当期純利益は10億7,400万円（+2.8%）となった。

資本的収支：収入面は、企業債や補助金の収入で99億3,800万円（+45.0%）となった。

支出面では、加茂河原ポンプ場更新事業の進捗等による建設改良費の増加により、支出額は147億5,700万円（+61.9%）となった。

この結果、資本的収支の不足額は48億1,900万円となり、留保資金や収益的収支で生じた利益等で補填している。

<下水道マスコットキャラクター「スイスイ」>



【経営戦略との比較】

【単位：億円】

	収益的収支			資本的収支		
	収益	費用	純利益	収入	支出	不足額
経営戦略	92.8	82.0	10.8	91.2	129.8	38.6
R4決算	93.6	82.9	10.7	99.4	147.6	48.2

- ・収益的収支については、概ね経営戦略どおりの結果となった。
- ・資本的収支については、加茂河原ポンプ場更新事業の進捗等により、建設改良費が大幅に増加した。
- ・その結果、当年度においては、資本的収支の不足額が経営戦略よりも大きくなったが、これは前年度繰越によるもので、令和3・4年度の2年間で見ると資本的収支の不足額は、概ね経営戦略と同様の結果となっている。